

報道関係者各位

**ULVAC**

リリース日：2015年9月3日

**厳しい環境下でも長寿命で高精度を維持可能な電離真空計  
「G-TRANシリーズ マルチイオンゲージST2」を開発、製品化**

株式会社アルバック

株式会社アルバック(本社 神奈川県茅ヶ崎市、代表取締役執行役員社長 小日向久治、以下アルバック)はこのほど、厳しい環境下であっても、長寿命で高精度を維持可能なトランスデューサタイプの電離真空計「G-TRANシリーズ マルチイオンゲージST2」を開発、製品化し、2015年10月より販売いたします。

**【背景】**

真空空間には、環境によっては様々な気体分子が存在することがあり、真空計にとって厳しい環境下で計測を行うことも決して少なくありません。その結果、真空計測定子の寿命(汚れによる短寿命、放電し難い、交換頻度の増加など)や精度(感度のばらつき、誤差など)でお困りとの声をよく耳にします。これらの主原因として挙げられるのが、

- ・各種真空プロセス中に発生する放出ガス
- ・ワーク(サンプル)から発生する放出ガス
- ・真空チャンバ加工時の切削油や洗浄液の残渣
- ・真空チャンバ内の配線材、移動機構、モータなどからの放出ガス

などであり、これらによって真空計の測定子が汚染され、フィラメントの短寿命、感度の低下、エミッション電流の停止、放電の停止などの問題が引き起こされます。この様な問題を回避するためには、定期的に測定子を交換することが必須です。この頻度が多いほど、

- ・消耗品である測定子のランニングコストの増大
- ・測定子交換時の生産ライン(システム)ストップによる損失
- ・測定子交換に関わる手間の増大

により、無駄なコスト・時間が発生してしまうことになります。

**【概要】**

アルバックは、この様な状況を踏まえ、単位面積当たりのイオン電流値を抑えることにより、イオンコレクタへの負担を軽減し、さらにイオン化する空間の電位が一様となる構造の電離真空計を開発しました。これにより、電離真空計にとって厳しい環境でもより長い時間(当社比30倍以上)、精度よく測定することが可能となりました。お使いの各種真空装置のランニングコストやダウンタイムの低減、歩留まりの向上に、大幅に寄与できるものと考えております。

**【特長】**

この新型電離真空計「G-TRANシリーズST2」の特長は下記の通りです。

